



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)美しが丘2丁目計画	階数	地上5F、地下1F
建設地	神奈川県横浜市青葉区美しが丘二丁目15番6、15番7	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 竣工	評価の実施日	2023年12月24日
敷地面積	650 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	543 m ²	確認日	2023年12月25日
延床面積	2,777 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 91% (125 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 91% (125 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 91% (125 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 室内環境に配慮している。 建物の熱負荷抑制に努めている。 資源、マテリアルの確保に努めている。 		<ul style="list-style-type: none"> 特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 開口部遮音性能T-2以上。 換気量は基準法の1.2倍以上を確保。 条例により全館禁煙としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各居室面積18.00㎡以上。 防汚性の高い建材の採用。 給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用。 	<ul style="list-style-type: none"> 外構緑化指数35.4%。 メッシュフェンス設置、防犯性に配慮。 舗装面積率10.64%。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> BPI=0.66。 	<ul style="list-style-type: none"> LGS下地を採用。 有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用。 ノンフロン断熱材を採用。 	<ul style="list-style-type: none"> LCCO₂排出率=91%。 チェックリストの一部を満たす、広告物照明無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

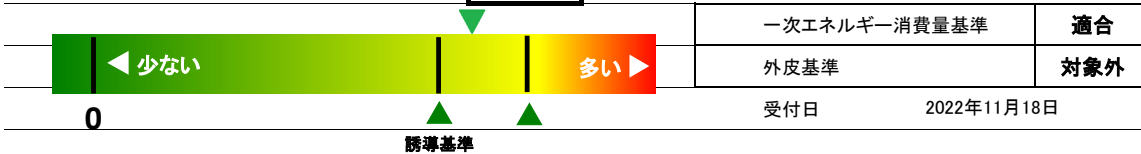
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)美しが丘2丁目計画

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 12 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.66。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩換気量は基準法の1.2倍以上を確保。

⑪条例により全館禁煙としている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1
(仮称)美しが丘2丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.2
Q1 室内環境										2.6
1 音環境				2.9	0.15	2.8	1.00			2.9
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				3.9	0.40	3.6	0.40			-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	0.47	5.0	0.30			-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.53	3.0	0.30			-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				2.7	0.25	3.0	1.00			2.7
3.1 屋光利用				3.0	0.31	3.0	0.50			-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.58	3.0	0.60			-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.42	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				2.0	0.29	3.0	0.50			-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	2.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.14	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.26	-	-			-
4 空気質環境				3.4	0.25	3.1	1.00			3.3
4.1 発生源対策				3.0	0.50	3.0	0.63			-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.30	3.3	0.38			-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	4.0	0.33			-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33			-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-			-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.8
1 機能性				2.6	0.40	3.8	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.2	0.30	2.0	0.40			-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.09	3.0	0.50			-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.09	-	-			-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.82	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-			-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-			-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-			-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑯信頼性	2.0	0.20	-	-			-
2.4.3 電気設備	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑯信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				2.8	0.30	2.0	1.00			2.6
3.1 空間のゆとり				2.4	0.30	1.0	0.50			-
3.1.1 階高のゆとり				2.0	0.60	1.0	0.60			-
3.1.2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	1.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

(仮称)美しが丘2丁目計画

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.32	-	-			1.3
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-			1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	2.6	0.50	-	-			2.6
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.1
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-			3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			2.9
1 地球温暖化への配慮				3.3	0.33	-	-			3.3
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-			2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	0.50	-	-			-
2 振動				3.0	0.50	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-			-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目									
<事務用途>				-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-		
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-		